



ECHIZEN
越前町

人と技
海土里 織りなす
快適なまち

議会だより

ホッケー競技 天皇杯 皇后杯 獲得



“笑顔満点”

主な内容

- ◆ 臨時会・定例会報告 2p～ 3p
- ◆ 一般質問 4p～ 9p
- ◆ 9月定例会に提出された議案等 10p
- ◆ 平成29年度決算審査 11p～ 13p
- ◆ 広報研修 14p
- ◆ 議員の議会・委員会等出欠状況 15p
- ◆ がんばってます!・編集後記 16p



はぴりゅうと
いっしょに
ダンス&ダンス

第2回臨時会

会期 8月2日

専決処分の承認

平成30年度越前町一般会計補正予算

7月豪雨により被災した道路、林道、農地などにおいて、流出した土砂や倒木等の撤去費用や、被災箇所復旧に要する修繕料、委託料を計上。

林道維持管理事業（修繕料）

1,000万円



広域基幹林道越前西部2号線(梅浦)

土地改良施設維持管理事業（修繕料）

1,000万円



農道織田26号線(四ツ杉)

道路維持補修事業（修繕料）

1,250万円

河川維持補修事業（修繕料）

860万円

農地現年発生災害復旧事業（委託料）

200万円

林業用施設現年発生災害復旧事業（委託料）

400万円



広域基幹林道越前西部3号線(下山中)

補助災害復旧事業（委託料・工事請負費）

750万円

平成30年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算

簡易水道施設管理事業（修繕料・工事請負費）

1,515万2千円

7月豪雨により、水源地及び水源地からの導水管、管理道路が被災したため、復旧に要する修繕料・工事費を計上。

簡易水道施設災害復旧事業（委託料・工事請負費）

2,458万7千円

7月豪雨により、惣分谷浄水場内の法面が被災したため、復旧に要する委託料と工事費を計上。

平成30年度越前町集落排水事業特別会計補正予算

漁業集落排水施設管理事業（工事請負費）

203万1千円

7月豪雨により、越前北部処理場の処理棟側面の崖より土砂が崩落し、施設内管理用通路に流入したため、土砂撤去などに要する工事費を計上。

契 約

平成30年度社会資本整備総合交付金事業（除雪ドーザー11t級購入）

物品売買契約について

◇契約金額 … 1,533万6千円

◇契約の相手方 … コマツサービスエース(株)

平成30年度社会資本整備総合交付金事業（除雪ドーザー8t級購入）

物品売買契約について

◇契約金額 … 1,165万4千円

◇契約の相手方 … コマツサービスエース(株)

観光施設管理運営事業（工事請負費・備品購入費他）

1,260万円

閉鎖した花の茶屋及び屋外公衆トイレを解体する工事費並びに越前がにミュージアムマーケット棟管理用備品を更新するため、備品購入費を計上。

統合学校給食センター建設事業（委託料）

798万2千円

平成31年度実施予定の各給食センター解体工事に伴う、設計委託料を計上。

地域密着型介護予防サービス給付事業（負担金補助及び交付金）

580万円

小規模多機能型居宅介護と認知症対応型共同生活介護などの利用件数が、当初の利用見込件数に比べ増加しているため、負担金を増額計上。

簡易水道施設管理事業（修繕料と工事請負費）

2,412万3千円

簡易水道事業区域の漏水箇所及び機械修繕料と施設のポンプ修繕や膜ろ過装置を改良するため、工事費を計上。



膜ろ過装置

＜第2回臨時会に提出された議案等＞

議案番号	件 名	議決の結果
報告第 7 号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告のみ
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町一般会計補正予算（第4号））	全会一致可決
承認第14号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号））	全会一致可決
承認第15号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町一般会計補正予算（第5号））	全会一致可決
承認第16号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号））	全会一致可決
承認第17号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第2号））	全会一致可決
議案第53号	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業（除雪ドーザー11t級購入） 物品売買契約について	全会一致可決
議案第54号	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業（除雪ドーザー8t級購入） 物品売買契約について	全会一致可決

公共下水道施設管理事業（工事請負費他）

989万8千円

マンホール鉄蓋の高さ調整などの修繕料、浄化センター設備機器の故障や中継ポンプ場の腐食配管修繕のため、工事費を計上。

漁業集落排水施設管理事業（工事請負費）

500万5千円

越前北部処理場、越前南部処理場、米ノ5号中継ポンプ場の自家発電装置等機器が経年劣化により故障したため、工事費を計上。

契 約

平成30年度社会資本整備総合交付金事業

（除雪ドーザー11t級購入 その2）

物品売買契約について

◇契約金額 … 1,369万5千円

◇契約の相手方 … コマツサービスエース(株)

人 事

人権擁護委員候補者の推薦について

次の方々の推薦を、全会一致で同意しました。

武田 淳子氏（蚊谷寺・再）
河本 正則氏（高佐・再）
杉森 保子氏（上戸・再）
伊部 孝幸氏（細野・再）

こんなことを審議しました

9月定例会

会期 9月11日～21日

専決処分の承認

平成30年度越前町上水道事業会計

補正予算

上水道事業（工事請負費） 320万円

朝日浄水場の次亜注入機が老朽化により故障したため、機器を交換する工事費を計上。

条 例

越前町立学校給食センター条例の一部改正について

4地区学校給食センターを統合し移転新築することに伴い、新しい学校給食センターの名称と位置を定めるため、条例の一部を改正。

補正予算

障害者地域生活支援事業（備品購入費他）

28万5千円

役場と宮崎コミュニティセンターの窓口にタブレット端末を導入し、テレビ電話機能を使った手話の遠隔通訳により、音声通話が困難な聴覚や言語に障がいがある人の利便を図るため、備品購入費を計上。

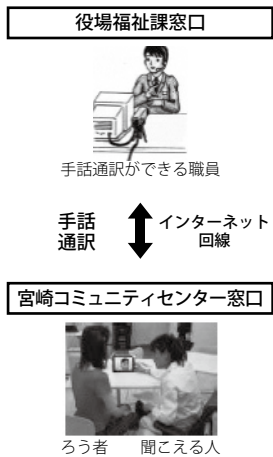


越前陶芸村(計画エリア)

越前焼活性化対策事業（委託料）

100万円

越前陶芸村内の施設整備計画を策定するため、委託料を計上。



認定こども園施設整備事業（負担金補助及び交付金）

5,492万1千円

西徳寺保育園を移転改築し、幼保連携型認定こども園への移行計画に要する費用の一部を補助するため、補助金を計上。



笠原 秀樹 議員

教育長

今回の改訂は、現在の学習指導要領を否定するものではなく、その延長上にあるもので、今後情報化グローバル化が、更に進んでいく将来を見据えて、これまでの学校教育のよさを活かしながら、更に進化充実を図るもので、小学校3年生からの外国語活動、そして5年生から教科化される英語科の導入のほか、プログラミング教育を中心とした情報活用能力の育成などが、主な改善点として挙げられている。

授業改善については、もう既に町内全ての小・中学校が主体的、対話的で深い学びに関する研究主題を掲げ、授業改善に取り組んでいる。

また、小学校におけるコンピュータプログラミング教育のパソコン

7月の豪雨・台風で、被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

さて、平成30年度から小学校、中学校、高校と順次実施される学習指導要領は、明治以来の均質一斉型授業を改め、主体的、対話的な学習で、理解と応用力を深めるとある。

現在、準備段階だとは思いますが、どのように取り組まれるのか。

笠原

新学習指導要領でどう変わるか

の環境整備は、平成28年度から3年計画で行われており、今年度で全校の更新が完了する。プログラミング教育の導入については、この3月に国の指針が出され、教員のプログラミング体験研修が行われ始めた段階で、町でもこの夏休みに教員対象に研修を行った。具体的な教材の選定や学習内容などについては、検証しながら準備を整え、平成32年度からの全面实施に備えたい。

現在、コンピュータはさまざまな面で活用され、自動車や家電など身近なものの中に内蔵されているが、今後情報化社会は加速的に進化し、誰にとっても情報活用能力を身につけることが不可欠な社会が到来しつつある。このような状況の中、学校におけるICT教育環境の整備や教員の研修は欠かせない。今後も計画的かつ積極的に取り組んでいきたい。



次期学習指導要領を前倒しで行い、外国語指導助手等の配置時間を増加し、授業の充実を図ってきた。他の都道府県が本導入する平成32年には、今以上に円滑に英語教育が行われるよう、財政的支援はもとより各種支援員の配置、人的な面においても、これまで以上に各学校の活動を強く支援していく。

英語教育以外の学校教育環境につ

町長

急激な変化は、子供たちに大きな戸惑いが起る懸念もある。既に準備段階から実施していると聞いているが、指導要領を実施するには、行政の指導や支援が大きい。リーダー的な教員の育成、研修の拡充、外国語指導助手や外部人材の活用策などの支援策は。また、授業時間数が現行の指導要領では満杯状態で、どう英語の増加分を確保していくのか。

笠原

指導要領実施に行政の支援は

いても、地域の宝である子供たちが、将来社会で活躍し、未来を切り開いていく立派な人材に育つよう、社会の変化に応じて適切に支援していく。

笠原

将来町の小・中学校が、ほかの地域に負けない、すばらしい学校になっていくことを強く期待する。



質問

いっぱん

一般質問とは、議員が行財政全般にわたって町に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの



木村 繁 議員

木村

大野市では、昨年イノシシとシカを合わせて約600頭が捕獲され、5年前と比べ、約3倍に増加した。そのため大野市鳥獣害対策協議会が、有害鳥獣の処理対策として、本年4月、有害鳥獣の死骸を投入し、おがくずに付着する微生物の力で発酵分解させる有害鳥獣分解処理装置を導入した。

本町も、平成29年度決算によると、イノシシとシカを合わせて460頭が捕獲されているが、捕獲従事者や地域住民の処理労力の負担軽減に向けた、処理施設の設置を含めた有害鳥獣対策の強化について伺う。

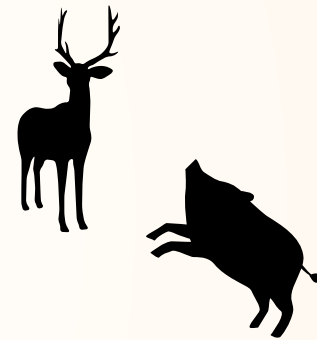
町長

有害鳥獣対策については、侵入防止柵の設置による被害防除と有害鳥獣の捕獲により対策を進めている。捕獲については、猟友会丹生支部による被害対策実施隊を中心に実施しており、本年度より狩猟免許の取得及び更新費用を支援するなど、実施隊の確保に努めている。

平成29年度は、ピーク時の平成27年度の596頭に比べ、捕獲総数は減少しているが、シカの捕獲数は倍増し、捕獲した個体の処分について、区または農家組合が埋設処分を



有害鳥獣分解処理装置



している。処分費として、1頭7,000円の埋設手数料を支払っているが、埋設作業の負担が大きいことや埋設場所の確保が課題となっている。

今後、分解装置等の導入も検討し、捕獲後の処理労力を軽減する方策を検討していきたい。

有害鳥獣対策における処理施設の導入は

木村

助産師などの専門家が、産後の母親の心や体の不調に対応し、うつや虐待の予防の二環として期待できる事業として、産後ケア事業がある。

国は、平成27年度から事業費の半分を補助、平成29年には産後ケア事業の種類や方法、注意点をまとめた指針を公表し、取り組みを促している。費用対効果が明確でない、予算化をためらう自治体もあるが、子育て環境を充実させることは、人口減少に歯止めをかける大きな対策の1つと考える。

町長

町は、妊娠、出産、子育てのさまざまな悩みの相談窓口となり、妊産婦と子供の健康の保持増進に関する支援を行うなど、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目なく子どもと保護者に寄り添い、触れ合う、顔の見える支援を提供するため、本年4月に子育て世代包括支援センターを開設した。センターでは、保健師に加え、助産師を配置し、母子保健事業と子育て支援の充実を図っている。

産後ケア事業については、センターの新たな取り組みの1つとして、国

や県の助成を受け、事業を実施している。産後ケア事業は、授乳が困難なまま病院を退院した、心身の不調や育児不安があるお母さんなど、この制度の利用を希望される方の支援を、公立丹南病院へ委託している。

支援内容について、お母さん向けのケアは、健康状態のチェックや授乳のケア、助産師や看護師による心のケアや授乳、沐浴、育児指導と、赤ちゃん向けのケアは、健康状態や体重、栄養のチェックをおこなう。

今後も、産後ケアを取り組むことで、お母さんの心身のケアや育児サポートなどを行い、母子の心身不調や育児不安に対するきめ細やかな支援を提供することにより、産後も安心して育児のできる環境づくりに努めていく。



産後ケア事業の取り組み状況及び推進対策は



藤野 菊信 議員

町長 スクールバスの空き時間を利用して、テスト期間中の高校生も乗車できるよう、本年度予算に運行委託料を増額計上するとともに、丹生高校にも利用を呼びかけている。しかし、兼ねてから福祉バスにも要望し、テスト期間中も路線バスが利用しやすいよう、ダイヤ改正を行って

昼の時間帯には、公共交通のバスが少ないため、テスト期間中のバスの支援は出来ないか。

藤野 通学支援制度は、個人への補助制度となるので、町民全体の公平性ということから、特定の学校に通学する家庭だけを無償にすることというものは考えていない。

町長 丹生高校は、町にある唯一の県立高校で、開校以来93年、1万6,700人の卒業生を輩出し、その大半が町内に残り生活している。丹生高校への支援の拡充として、バス通学の無償化は出来ないか。

藤野

丹生高校への支援の拡充を

いるため、今のところ高校から町に對して、スクールバスの要請はないが、要請があればいつでも対応できる体制はとっている。

藤野

ホッケーの全日本メンバーにも卒業生が入っており、他の部活でも頭角を現してきている。各部活動への補助は出来ないのか。

町長

現在、町では丹生高校部活動後援会補助金を交付し、各部活動の派遣費の一部を助成している。また、町の施設使用料割引や無料化については、男女ホッケー部は毎日町立及び県立の人工芝ホッケー場で練習しているが、施設使用料は無料としている。ただし、夜間に使用する場合は、ナイター料のみ負担してもらっている。弓道場については、学校には近的用施設しかないため、大会前等に朝日弓道場の遠的用施設を使用しているが、これも無料である。野球部については、通常は学校で練習をしているが、練習試合等で町営球技場を使用する場合は、町内利用料金をさらに割引している。

藤野 越前町に残って生活するということは、町にとってこれ以上の貢献はない。その他に支援事業はあるのか。

町長 1つは丹生高校育成会負担金で、丹生高校育成会の活動費用の一部を負担することにより、育成会が取り組む中高一貫教育事業や地域教育活動授業、あるいは進路指導支援事業や生徒募集事業に有効に活用されている。

2つ目は、越前町青雲特待生奨学金があり、すぐれた資質を有する生徒に對し、丹生高校への進学を推奨し、町内唯一の高校を育成することともに、地域全体の教育振興を図っている。

こうした経済的な支援以外にも、国際交流協会が実施するアメリカアラバマ州モンテパロ市や南オーストラリアのパードウッド高校への派遣事業において、丹生高校の連携クラスを生徒に對する参加枠を設けるなど、優遇措置を行っている。

また、これら以外の支援の方法については、今後先生方との協議の中で、要望等を聞き、効果的と思われるものについては、前向きに検討していきたい。



力をつけている野球部



モンテパロ市交流事業

質問

一般質問とは、議員が行財政全般にわたって町に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの



伊部 良美 議員

早期に事業完了を目指す

伊部

梅浦上向山地係の山林において、平成30年度災害関連緊急治山事業の福井県第1号の工事として、県丹南農林総合事務所林業部のもとで、治山ダム工、延長28.5m、高さ8m、容積392.2m³の工事が施工するということだが、早急に工事に取り組んで頂きたい。

また、この工事場所から梅浦川までの区間についても、今後どう対応するのか尋ねたい。

町長

梅浦上向山地係の土砂災害現場は、昨年9月の台風18号、10月の台風21号の通過の際に土砂流出が発生し、本年7月の西日本豪雨により、急峻な溪流の荒廃が更に拡大し、土石流となって下流域に流れ込んだもので、大量の土砂が町道を初め区内の道路や民家のガレージ内に流入したものである。

昨年10月の台風21号の際に発生した土砂流出の後、県丹南農林総合事務所林業部に對し、現地踏査による治山えん堤、その後地及び上流部の荒廃状況の確認を依頼した。その結果、えん堤の背後は、堆積土砂により満砂状態で、その上流部の谷合いは、広範囲にわたり荒廃が進んでいる状況が確認された。

このようなことから、町としては県に對し、今後の土砂流出を未然に防ぐための溪流保全対策を検討するよう要望していたが、溪流上流部までの建設機械や資材の搬入が困難であることから、一旦は、町において町道を含む下流域での対策を検討願いたいとの回答であった。このことを受けて、町ではこれまでの間、台風の接近や大雨警報の発令が予想される場合には、溪流流路の町道流入口付近に仮設的に大型土のうを設置し、町道や民家への土砂の流入を防止するよう努めた。

しかし、先般の西日本豪雨では、大型土のうをはるかに超える大量の土砂が流出したため、県当局ではその被害状況を鑑み、土砂流出防止対策の再検討に取り組み、国庫補助事業の認可申請を行った結果、災害関連緊急治山事業として認可される見通しと聞いている。このえん堤の完成により、下流域の土砂の流出は当面防止することができると思われる。

町では、溪流流路の町道流入口付近と町道の横断溝の改良を検討しているところであり、平成31年度に予算計上することを考えている。今後、県と連携を図りながら、早期の事業完了を目指し、溪流の下流域で生活する住民の方々の安全安心を確保するよう努めていきたい。



既設治山ダム



町道梅浦1号線

インクス株式会社工場増設

伊部

インクス(株)の工場増設について伺う。

町長

インクス(株)は、神奈川県横浜市に本社を置き、平成23年に越前町田中地係にあった電子会社の株式譲渡を受けて、福井工場として操業を開始した。本年7月30日、社長をはじめ役員の方が来庁し、福井工場の北隣に建設される新工場についての説明を受けた。新工場は、敷地面積が3,800㎡、鉄骨3階建、延べ床面積は約4,800㎡、建設に関する投資額は約5億5,000万円、来年3月に竣工を予定している。当工場では、自動食器洗浄機などの厨房機器、産業用ボイラーなどに使われる制御基板を製造し、製品の組み立てにも取り組む予定で、勤務する従業員は現在56人だが、新工場の増設に伴い10人ほど新規雇用を計画している。

今後の対応として、越前町企業立地促進条例等に基づき、必要な奨励措置を検討していきたい。

町内における事業者の育成と企業の立地を促進することは、雇用機会の拡大及び定住人口の増加が見込まれ、本町の産業の発展と地域の活性化につながるため、今後も事業者と連携を図りながら企業誘致に努めていきたい。



高田 浩樹 議員

重要計画の有効性や適合性は？

高田 行財政基盤に関する総合振興計画における施策等の有効性は。

総務理事 目標指標等は、現時点で概ね達成しているが、これらが有効的に寄与している。

総務理事 指数は、平成22年度から平成29年度まで、0.34前後で推移。類似団体平均値は0.68で、本町は低いといえる。

高田 財政力を示す指標である財政力指数の推移等は。

総務理事 町税は、平成27年度が約25億円、平成29年度が約23億円。平成30年度以降は、約22億円から23億円程度と考える。

高田 普通交付税は、合併以降、約55億円で推移。段階的縮減期間に入った平成27年度が約56億円、平成29年度には約46.4億円まで減少。平成32年度は、最も低く見積もった場合、約36億円まで減少。

高田 主たる経常一般財源である町税と普通交付税のこれまでと今後の見通しは。

高田 経常一般財源や財政力は？

高田 財政について

高田 公共施設等総合管理計画は、住民サービスと財政面の双方において長期にわたる重要な計画であるが、総務省の策定方針との適合性は。

高田 策定方針により計画を作成。しかし、当時、統一基準の新地方公会計の導入がなく、固定資産台帳も未作成であり、十分なデータ収集ができなかった。昨年度、固定資産台帳が完成。本年度、統一基準の財務書類に移行。今後、これらを活用した管理計画の整備が必要であると考えている。

高田 財政の現状と今後、新地方公会計の活用は？

高田 財政の現状及び今後、並びに新地方公会計の活用について、町長の所見を伺う。

町長 本町の財政の現状は健全であるが、国や県の財源に頼る部分が大きく、地方交付税は段階的縮減が行われており、歳出予算削減が迫られている。

町長 町民のニーズと健全な財政の維持とのバランスを保つため、行財政改革、長期的な財政を考慮し、施設の統廃合を含め計画的に進める必要があると考えている。

町長 新地方公会計は、資産の状況や行政コストを念頭に置いた予算編成、施設の計画的更新等に活用。行財政情報については、わかりやすい発信の方法を検討していく。

質問

いっぱい

一般質問とは、議員が行財政全般にわたって町に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの



佐々木 一郎 議員

旧4町村の郡部に「福祉タクシー」の運行を

佐々木

現在のコミュニティバスの運行は、平成18年に始まり、今年度で12年目になる。この間、町では利用する町民の方の利便性等を考慮し、何度となく見直し等を図ってきたと思われる。

しかし初年度は、運行日数254日、利用した方は6万1,891人、一番多かった平成21年度は6万3,950人その後、年々利用者の数が減少し、平成29年度は3万5,998人。一番の最盛期から52.2%の減ということになる。

経費は、平成29年の決算で5,831万円。これを利用した人で割り返すと、一人あたり1,905円という金額になる。

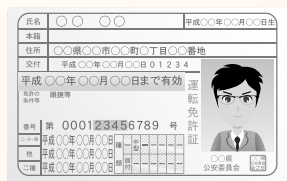
旧4町村の郡部と言われる地域、旧越前町は、玉川、血ケ平、左右、梨子ケ平、午房ケ平、六呂師の6地域、旧織田町は、旧萩野村、上戸の地域、旧宮崎村は、熊谷、古屋、増谷、広野、蚊谷寺の5地域、旧朝日町は、旧糸生村、旧常磐村の地域について、コミュニティバスを利用される人は、特に高齢者が多く、時間までに最寄りの停留所まで歩いて行かなければ利用ができないという不便な状態だ。

このことを解消するため、例えば「福祉タクシー」と名称を変更して、個人から申し込みがあったら、家の

運転免許証返納者に愛の手を

佐々木

運転免許証を自主的に返納される人が、年々増えてくると思う。返納される人は、いろいろな理由があつて返納されると思うが、町としての助成について伺いたい。



の免許自主返納者はタクシー運賃が10%割引となる。加えて、本町独自の支援として、コミュニティバスを無料で10年間利用することができサービスも行っている。

免許証の返納制度は、町としても推奨するところではあるが、本町の免許返納者の実態を見ると、返納者だけに特別な支援制度を創設しても、あまり有効だとは考えにくい。町としては、交通弱者にやさしい交通デザインの構築に、全力を挙げて取り組んでいきたいと考えている。

町長

町の免許保有者は、平成29年度末現在で1万5,224人となっている。免許自主返納者は平成19年度の3人から徐々に増加し、平成29年度には68人、累計で323人を数える。このうち、町に対し免許自主返納者支援事業に申請をされた方は、合計で272人となり、返納された方の84%が支援を申請していることになる。

免許を返納すると、福鉄、京福バスの運賃半額定期やフリー定期乗車券が割引価格で購入でき、福井鉄道やえちぜん鉄道の割引乗車券も利用できる。タクシー事業も、75歳以上



コミュニティバス

豪雨等による災害対策

水害対策は？

高田

今年7月の豪雨で、天王川で越水及び漏水、梅浦川と大樟川で越水した箇所があったが、今後の対策は。

建設理事

天王川、梅浦川及び大樟川は、県管理の河川で、県の今後の計画では、天王川の江波地係の越水箇所は、護岸のかさ上げ工事を計画しており現在予算要求中、気比庄地係の漏水箇所は、原因究明とともに応急工事の工法を検討中。梅浦川と大樟川については、上流に流出した土砂や流木を捕捉するスリットダムの建設を検討、今後、県当局と協議を進めていきたい。

高田

氾濫等に関わる河川、排水路、都市下水路等の流量・流下能力、阻害率などの情報把握と対策は。

建設理事

本町が整備・管理している施設の流量や流下能力等は把握しているが、県が整備・管理する施設について詳細は把握していない。

河川内の堆積土砂等は、県管理、町管理、それぞれの河川管理者が状況を確認、緊急性の高い箇所から浚渫、河床整正などを行っている。

特に、和田川の上川去地係では、河川が浅く断面が小さいため、越水の危険度が高いことから、県で予算を計上、順次河川の浚渫、堤体の補強工事を実施。ま

土砂災害等の対策は？

高田

土砂災害に対する取り組みは。

建設理事

急傾斜地崩壊危険区域における対策事業の推進、砂防指定地内における施設の充実と保全が最も重要と考え、これらに関し、県への積極的な要望、町での保全活動等を実施していく。

高田

ため池に関する防災は。

産業理事

本年7月と8月に点検を実施。堤体から漏水が見えられたため池は、現在、補修完了。平成32年度までに整備の優先度の高いため池の改修を計画。耐震等の性能不足のため池については、耐震化や長寿命化対策を検討、事業化を推進していきたい。

課題や今後の対策は？

高田

近年の豪雨等による災害から見えた課題や今後の対策は。

町長

早い段階での対策が重要であると考えている。迅速かつ的確な災害対応ができる職員の育成に努め、ハード、ソフト両面から町民の安全と安心を最優先に対策を考えている。

町の財政状況を審査しました

9月議会定例会で、平成29年度一般会計と9特別会計、2事業会計の決算を審査した結果、全会一致で認定しました。審査時には、次のような質疑がありました。

総務部門

経常収支比率について

町 経常収支比率についての認識は。
総務理事 当年度は交付税の段階的縮減、大手事業所の法人町民税の減少などで、数値が悪化し、今後も高い状態が継続する恐れがある。

現に、平成28年度の比率は89.9%、平成29年度の比率は95.1%で、5.2%高くなっている。

町としては、この数字を重く受けとめ、今後の予算編成に活かしていくべきと考えている。

電気料金について

町 本庁舎など公共施設の電気料金は。
企画財政課長 予算上での額は、約2億円。

町 電力購入の自由化に伴い、電力会社も入札したらどうか。
企画財政課長 北陸電力よりどれだけ安くなるか、調査し検討する必要がある。

ただし、本庁舎などは防災拠点となる施設なので、電気供給に支障がないよう、慎重に対応しなければならぬ。

ドライブレコーダーの設置について

町 ドライブレコーダーは、何台取り付けたのか。
監理課長 公用車47台に設置した。取付費込みで、約182万円。

町 どういう理由で設置したのか。
監理課長 職員の事故防止の啓発、また事故等があった場合、責任の所在を明確にするために取付けた。

神社周辺整備事業について

町 地域住民を交えた先進地視察や懇談会の実施状況は。
企画財政課長 昨年度4回懇談会を行い、神社周辺の整備をどのように進めていくか、協議した。今後は、地域住民の方々の意見を具体化させていきたい。

コミュニティバスについて

町 コミュニティバスが老朽化しているが、今後の見通しについては。
企画財政課長 まだ、買い換えが必要な時期ではないが、修繕費用がかさんでくる可能性があるので、公共交通の今後のあり方も踏まえ、検討していきたい。

防犯について

町 全国的に毎年何件か、児童を狙った卑劣な犯罪が発生しているが、通学路に防犯カメラを設置する考えはないのか。
防災安全課長 現在、防犯カメラの設置について検討しており、予算化していく方針。

ミュージックチャイムについて

町 赤ちゃんがいる家庭などでは、戸別受信機から流れるミュージックチャイムがうるさく、切ってしまおうが、音量は小さく出来ないのか。
防災安全課長 防災無線の戸別受信機で、調節が可能。受信感度の確認という意味で、チャイムを聞いていただくよう、協力願いたい。

地域おこし協力隊について

町 地域おこし協力隊の現状は。
企画財政課長 過去の2名のうち1名は、現在越前町内に勤めている。現在3人目の方が、織田地区で居住しながら、移住コンシェルジュとして活動している。人口増加のためにも将来越前町に定住して頂きたい。

会計部門

町民税等の滞納について

町 滞納額の考えについては。
会計管理者 職員が丸とな

て計画的な納税指導、個別徴収を実施しており、今年度も管理職や税務職員を中心に、一斉徴収の期間を設けて徴収強化に取り組んでいる。

民生部門

障がい者地域生活支援事業について
町 支援事業の内容を、障がい者の方々に各事業について、どのように説明をしているのか。
民生理事 障がい者手帳の申請時、交付時、サービス手続き時などに、相談支援情報誌にて説明している。

町 現行の情報誌では、どの事業が対象になるのか分かりにくい部分も見受けられるが。
民生理事 今年度、情報誌の改定にあたり、当該事業などの説明について、分かりやすくしていきたい。

9月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告第 8号	平成29年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第 9号	平成29年度決算に基づく資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第10号	平成29年度越前町一般会計継続費精算報告書	報告のみ
承認第18号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町一般会計補正予算（第6号））	全会一致可決
承認第19号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度越前町水道事業会計補正予算（第2号））	全会一致可決
議案第55号	越前町立学校給食センター条例の一部改正について	全会一致可決
議案第56号	越前町過疎地域自立促進計画の変更について	全会一致可決
議案第57号	鯖江・丹生消防組合規約の一部変更について	全会一致可決
議案第58号	平成30年度越前町一般会計補正予算（第7号）	全会一致可決
議案第59号	平成30年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第60号	平成30年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致可決
議案第61号	平成30年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	全会一致可決
議案第62号	平成30年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致可決
議案第63号	平成30年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致可決
議案第64号	平成30年度越前町水道事業会計補正予算（第3号）	全会一致可決
議案第65号	平成30年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第66号	平成30年度社会資本整備総合交付金事業（除雪ドーザ11t級購入 その2）物品売買契約について	全会一致可決
認定第 1号	平成29年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 2号	平成29年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 3号	平成29年度越前町介護保険事業特別会計（保険事業勘定・介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 4号	平成29年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 5号	平成29年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 6号	平成29年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 7号	平成29年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 8号	平成29年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第 9号	平成29年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第10号	平成29年度越前町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致可決
認定第11号	平成29年度越前町水道事業会計決算認定について	全会一致可決
認定第12号	平成29年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について	全会一致可決
同意第10号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致可決
同意第11号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致可決
同意第12号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致可決
同意第13号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致可決

9億3,061万円の黒字決算 (実質収支額)

町の財政状況を審査しました

収入総額 141億4,118万円	−	支出総額 131億603万円	−	翌年度に繰越する額 1億454万円	=	実質収支額 9億3,061万円
---------------------	---	-------------------	---	----------------------	---	--------------------

敬老会開催事業について

町 朝日地区の会場は、机と椅子でないため、膝や腰が悪い方に負担をかけている状況なので、改善してほしい。

町 民生理事 机と椅子ではスペースをとり、出席者が会場に入りきれない状況だが、一度庁内で検討したい。

町 副町長 朝日地区の会場については、以前からいろいろ検討してきた。できる限り、朝日地区の方に二人でも多く参加していただき、楽しんでいただける環境づくりが出来るよう、検討していきたい。

ごみ袋の有料広告について

町 当町のごみ袋は他市町と比較すると、高いと言われているが、ごみ袋に有料広告を出し、その収入によって少しでもごみ袋を安くできないか。

町 住民環境課長 ごみ袋の有料広告について、県内では実施しているところはないが、今後検討していきたい。

結婚支援事業について

町 事業の現在の状況はどうか。



町 福祉課長 結婚支援について

は、若者出会いイベント開催補助のほか、結婚し町内に定住する新婚夫婦には結婚祝い品を支給している。また、結婚の縁結びをしていただく「お世話人さん」を募っており、現在29人の登録がある。若い人が結婚にたどり着けるような研修も行っており、少しでも婚姻数の増加につなげたいと考えている。

健康増進事業について

町 予防健診の受診率向上の取り組みについて。

町 民生理事 広報誌には毎月、健診日程を掲載している。健康フェアの開催時には、特設コーナーを設けて、よりいっそうPRしたい。また休日や早朝など、実施しやすい健診日の設定や受診券をカラーにして見やすくするなど工夫している。

国民健康保険事業特別会計

医療機関を受診しない方について

町 健康で長年医療機関を受診しない方に対し、医療費削減に貢献したとして、町の特産品などにメッセージを添えて、送付してはどうか。

町 町長 全ての町民が健康になれるような事業を考えてみたい。

介護保険事業特別会計

通所型教室について

町 昨年度から始まった事業だが、実績や効果はどうか。

町 地域包括支援センター長 平成29年度から始まり、33名の方が卒業した。体力測定と問診も兼ねて調査を行なったところ、約7割が機能の改善がみられた。



国民健康保険病院事業会計

町立織田病院の患者数について

町 患者数が減ってきている原因は。

町 健康保険課長 平成28年度は、総合診療科に2名の医師がいたが、平成29年度に1名減ったため、患者数が落ち込んだ。

町 将来は、2名にならないのか、検討してみてもいい。

町 民生理事 現在、医師の確保は難しく、地域医療振興協会や県にも医師の確保を要望している。

消費装置について

町 消費装置について、ノズルから出る水の量が一定ではないので、危険性があるが。

町 建設課長 町道・国県道に關しても、シーズン前に業者に委託し、メンテナンス点検をしている。再度、パトロール時にも確認するようにしたい。

移住体験について

町 何年か実施しているが、体験した方に意見とか聞いているのか。

町 定住促進課長 帰るときに意見ということ、アンケートをお願いしている。「いいところ」というお褒めの言葉はあるが、定住にはつながっていない。

教育部門

生活支援員配置事業について

町 生活支援員配置の来年度の予定は。

町 教育委員会事務局長 現在23名の生活支援員を配置し、担任による学級指導が学級全体の児童生徒に行き届くよう、学級全体をサポートしている。来年度は、学校と協議しながら慎重に対応したい。

産業部門

Uターン促進事業について

町 総合振興計画との適合性については。

町 産業理事 計画では、Uターン者の平成31年度の目標値が90人となっているが、平成29年度末までに31人の方が、Uターンで戻ってきている。

農地中間管理事業の推進について

町 平地では法人化が進んでいるが、小さい集落の中山間地域では、農地集約が進んでいないのでは。

町 農林水産課長 確かに、中山間地域での農地の集約は進んでいない状況だが、大きい営農組織に入っていたり、個別でお願いしている。

公衆トイレ管理について

町 水仙ランドの駐車場にあるトイレが、汚れていることについて。

町 産業理事 公共施設管理公社にトイレの清掃を委託している。現状を確認し、指導していきたい。



図書購入事業について

町 町民一人あたりの貸出冊数は。

町 図書館長 平成27年度4,7冊、平成28年度4,8冊、平成29年度4,9冊と貸出冊数は増加している。

学習環境整備について

町 特別教室の空調整備率は。

町 学校教育課長 平成29年度末で、34.9%。今後、国・県の補助は期待できないが、学校と十分協議しながら順に整備したい。

ネット教育について

町 学校でのインターネットに関する教育は。

町 教育長 今年6月に、ネット依存症という正式な病気と認識されるようになり、ネットトラブルに関する意識が高まってきた。道徳の教科でも、情報モラルの教育の充実が図られている。県からもリーフレットなど配布があったので、危機意識を高め、生徒に指導していきたい。



建設部門

調整池の警告板について

町 気比庄団地の調整池の警告板が、入口に小さい紙が張ってあるだけで、分かりにくい。

町 定住促進課長 周りの手すり工事と一緒に、現在発注している。



簡易郵便局受託事業について

町 切手類の販売で、手数料収入が見込めるが、町は購入しているのか。

町 農林水産課長 切手類については購入していないが、年末の年賀状は、販売促進を行って収入を上げている。



住宅の解体について

町 古くなった住宅の解体をしているが、最終的計画は。

町 定住促進課長 全部を解体する予定ではなく、古く耐震性のないもので、借地から順に解体するという方針。



議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

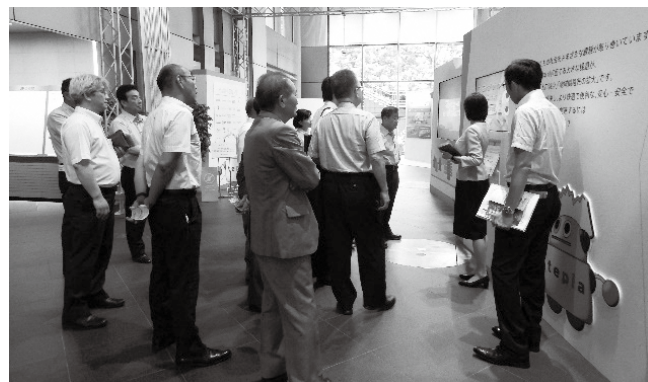
(6月16日～9月21日)

○…出席 ×…欠席 △…遅刻早退 () は理由

月日	曜日	諸 会 合 名	北島 議長	笠原 副議長	高田 議員	南 議員	藤野 議員	米沢 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	青柳 議員	木村 議員	吉村 議員
6 20	水	議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
29	金	議会活性化特別委員会小委員会	○	—	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	○
7 2	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		県町議会広報研修会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
4	水	議会広報特別委員会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
10	火	議会広報特別委員会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
11	水	県選出国会議員への要望活動 (東京)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		TEPIA先端技術館視察 (東京)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	木	町村議会広報クリニック (東京)	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
13	金	福井県アンテナショップ視察 (東京)	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
8 2	木	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
		議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
6	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	火	鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	—	—	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—
8	水	鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・定例会	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—
9	木	公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
23	木	町議会議員研修会(自治会館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	金	県丹南広域組合議会全員協議会・定例会	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—
28	火	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	金	議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
9 3	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	火	9月定例会 本会議 (1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	水	9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	△ (葬儀)	○	○	○	○	○
14	金	9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
15	土		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	日	町内小学校体育大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	火	9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△ (葬儀)
19	水	9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	木	9月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ (葬儀)	○	○	○
		9月定例会 本会議 (2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	金	議会広報特別委員会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○



県選出国会議員要望 (7月11日)



TEPIA 先端技術館視察 (7月12日)

広報研修

7月12、13日

「町村議会広報クリニック」で、勉強したぞ！

議会に対する住民の理解と関心を深めるため、町議会広報実務担当者を対象に広報発行の促進と向上発展を目的に、研修会が行われました。

今後はさらに、「町民に読まれ、伝わる」議会広報誌を目指します。



全国町村議員会館(東京都千代田区)にて

“レイアウトで目指せ 3つのこと”

1. 読みやすさ
2. 分かりやすさ
3. 美しさ・カッコよさ

福井県アンテナショップに、いってきねの～

首都圏をはじめ全国に向けて福井県の情報発信と、福井県産品の展示販売を行っています。来店するお客様には福井県産品の持つ確かな技や味わいを提供しながら、「日々の生活を より楽しく」するライフスタイルを提案しています。

青山店「ふくい南青山291」



銀座店「食の國福井館」



坂井市アンテナショップ (東京都品川区)





メンバーの皆さんを
直撃インタビュー

がんばってます!

少林寺拳法
織田スポーツ少年団

「チームの紹介をお願いします。」
私たち「少林寺拳法 織田スポーツ少年団」は、4年前に発足しました。現在の部員は、小学校2年生から高校生までの16名です。女子も多く活動しています。週2回火・金曜日の午後6時45分～8時15分頃まで織田小学校・織田中学校体育館で練習しています。越前町で活動しているのは当団のみなので、織田地区以外からの参加者もあります。

「どのような目標で活動されていますか。」

少林寺拳法は日本発祥の武道です。少林寺拳法を通じて、肉体も精神も健全で頼りになる自己をつくる「自己確立」、そして自分を大切にすると同じように他人の幸せも考えて行動する「自他共栄」、この二つのことを目指す人づくりのための「行」です。強い人が弱い人を助けながら、お互いに幸せに暮らせる社会をつくること目的としています。

練習方法は、基本動作など一人で修練する方法もありますが、少林寺拳法は二人一組で修練することが原則になっています。技を掛け合い、お互いが協力しあって、共に強くなるという協調性を養

います。そして技の上達と人格の向上につながっています。

「最後に一言お願いします。」

部員募集中です。部員は、昇級のためや大会に向けて日々練習に励んでいます。今回の福井しあわせ元気国体デモンストレーションスポーツ少林寺拳法競技へも全員参加しました。また、中学校武道必修化に伴い、少林寺拳法を正課にする学校も増えています。是非、ご連絡ください。

インタビュー 田中

連絡先

少林寺拳法 織田スポーツ少年団
支部長 眞保慶一

0778-3610034
090-882110465



傍聴席へどうぞ 次の議会は 12月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

福井しあわせ元気国体2018において、福井県は、天皇杯(男女総合優勝)と皇后杯(女子総合優勝)を獲得しました。

越前町で開催されたホッケーでは、成年男子と少年女子が優勝、少年男子が3位、成年女子が5位の入賞を果たし、競技別の天皇杯と皇后杯を獲得しました。連日にわたり多くの町民の方々が応援に駆けつけ、会場は歓喜に包まれました。

50年前の福井国体で、朝日町が競技会場となつて以来、「ホッケーのまち」として積み重ねてきたことが、今大会、大きな感動をもたらしました。輝く選手たちの姿は、多くの子どもたちの心に刻まれ、これからは「ホッケーのまち」は受け継がれていくと思います。

本町の議会だよりは、13年前に創刊されました。これまでの積み重ねとともに、これからも町民の皆さんに議会のことを知っていただけるよう、議論を交わし、試行錯誤しながら、委員一同頑張っていきます。ご意見・ご感想をお待ちしております。

(高田)

◆議会広報特別委員会◆

委員長 田中 太左門
副委員長 藤野 菊信
委員 吉村 春男
佐々木 一郎
米沢 康彦
南 ゆかり
高田 浩樹

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

